

件名	平成27年陳情第1号 24万都市八戸市にふさわしい新美術館の建設を求める陳情
処 理 経 過 及 び 結 果	
<ul style="list-style-type: none">○ 八戸市美術館は、昭和61年に青森県初の美術館として開館して以来、展覧会を通じて、市民はもとより近隣市町村の皆様にも美術に触れる機会とともに、文化芸術活動の場を提供してまいりました。○ 市では、第2期中心市街地活性化基本計画において、美術館を中心市街地の回遊拠点の1つとして位置づけており、芸術鑑賞の場にふさわしい周辺環境とするため、美術館周辺修景事業を実施しております。○ しかし、平成26年度に建物の耐震診断を実施したところ、補強が必要であるという診断結果が出ており、築45年以上が経過した建物について、費用をかけてどこまで補強するかという課題も出てきております。○ 最近の美術館は、鑑賞空間を提供するだけでなく、「つくり」「学び」「楽しむ」場を設け、子どもから大人まで日常的に美術に触れる機会を増やすための活動や、美術を介してコミュニケーションを広げる活動など、文化芸術を振興するための重要な機能を果たしていると認識しております。○ 以上のことから、今年度から他都市の事例について調査・研究を進め、美術館の規模や財源、整備手法などの課題を庁内で検討しており、早期に新美術館建設の可能性を取りまとめる予定であります。○ また、「八戸芸術パーク構想（仮称）」については、青森県が、新青森県長期総合プラン（平成9年2月策定）に基づき、平成13年度に整備構想を策定しました。○ 青森県では、平成15年度まで「八戸芸術パーク（仮称）整備構想」に基づき、その施設整備に向けた具体的な検討を推進してきましたが、平成15年11月に策定された青森県財政改革プランにより、中断されたまま、現在に至っております。○ そのため、当市では、県立八戸芸術パークの整備を最重点要望事項として、現在に至るまで要望しております。○ なお、「八戸芸術パーク（仮称）整備構想」では、この施設は舞台芸術（音楽、演劇等）を中心に映像・アートなど様々な文化芸術活動を支援、促進するため、ホールやギャラリー、練習室等を備えた複合施設として整備する内容となっており、美術館の機能は含まれていないことを申し添えます。	